

児玉郡市広域消防本部

K O D A M A G U N S H I F . D .

救うのは命 守るのは未来

本庄市

美里町

神川町

上里町

児玉郡市広域市町村圏組合

児玉郡市広域消防本部



児玉郡市広域消防本部は、昭和48年3月に発足しました。

埼玉県北西部に位置する本庄市、美里町、神川町、上里町の1市3町を管轄しています。

この地域は、豊かな自然と調和した歴史ある街並み、そして幹線道路や新幹線が通る交通の要衝として発展を続けており、都市と農村の両面を併せ持つ地域です。

地域の多様な特性に対応すべく、総務課・予防課・警防課・指令課を中心に、1署6分署を展開し、体制の充実と強化を図っています。災害を未然に防ぐ予防業務から、火災や事故、急病などの緊急対応に至るまで、あらゆる状況に即応できるように、各分野の専門性を活かした活動を展開しています。

万が一の災害発生時には、消防・救急・救助の各隊が連携し、被害を最小限に抑えるべく迅速かつ確実に対応します。

地域住民の命と暮らしを守るため、24時間365日、昼夜を問わず現場に向かい続けています。



共に進む 共に闘う 仲間と共に

消防隊

消防隊は、火災が発生するとただちに現場へ出動し、迅速かつ的確な判断で消火活動を行い、延焼の防止と被害の最小化に努めます。

さらに、救急隊と連携し、救急現場では応急処置や搬送の補助を行うなど、人命救助にも大きな役割を果たしています。

火災・救急の両面において高い専門性と機動力を発揮し、日々、地域の安全と安心を守り続けている存在です。



今を救う 未来をデザインする

救急隊

救急隊は、負傷者や急病人などの傷病者を迅速に医療機関へ搬送するために活動する部隊です。

現在、管轄内のすべての救急隊には救急救命士が配備されています。救急救命士は、医師からの指示のもとで、心肺蘇生、気道確保、薬剤投与などの高度な救命処置を現場で実施することが認められている国家資格の医療従事者です。

このような体制により、救急隊は傷病者に対して適切な応急処置を実施しながら、速やかに医療機関へ搬送することが可能となっています。



差し伸べる手の先に 助けたい命がある

救助隊

救助隊は、火災・交通事故・自然災害・CBRNE(化学・生物・放射性物質・核・爆発物の総称)災害・建物倒壊などの危険な現場に真っ先に駆けつけ、迅速かつ的確に人命を救い出す、救助活動のスペシャリスト。

専門的な訓練と高度な技術、そして専用の資機材を駆使し、あらゆる状況下での人命救助に挑みます。

確かな知識と冷静な判断力、そして強い使命感を胸に、今日も住民の命を守るため、現場の最前線で活動しています。



困難に立ち向かい 災害を制す

指揮隊

指揮隊は、災害現場全体を把握し、出場部隊を的確に指示・統率する“現場の司令塔”です。

火災や事故、自然災害など多様な現場において、被害状況や進行の危険性を迅速に見極め、消防隊・救急隊・救助隊などに最適な行動を指示します。

また、隊員の安全確保や活動方針の決定、警察・医療機関などの関係機関との連携調整も担い、全体の動きを的確にコントロールします。

冷静な判断力と高度な統率力で、現場を動かすプロフェッショナル——それが指揮隊です。



梯子隊

梯子隊は、高所へ挑むプロフェッショナル

30メートル級の巨大な梯子を備え、高層階に取り残された人々を救出し、火災現場ではポンプ隊と連携して、ビルの上層階への確な放水を行います。

限られた時間、限られた空間の中で、命を救うための判断と行動が求められる現場。梯子車の操作には、卓越した知識と技術が不可欠です。

どんな高みも、どんな危険も、確実に乗り越えるため、私たちは日々訓練を重ねています。

「手の届かぬ高所から命を守る」

——それが、梯子隊です。



潜水隊

潜水隊は、水の中の危機に挑むスペシャリスト

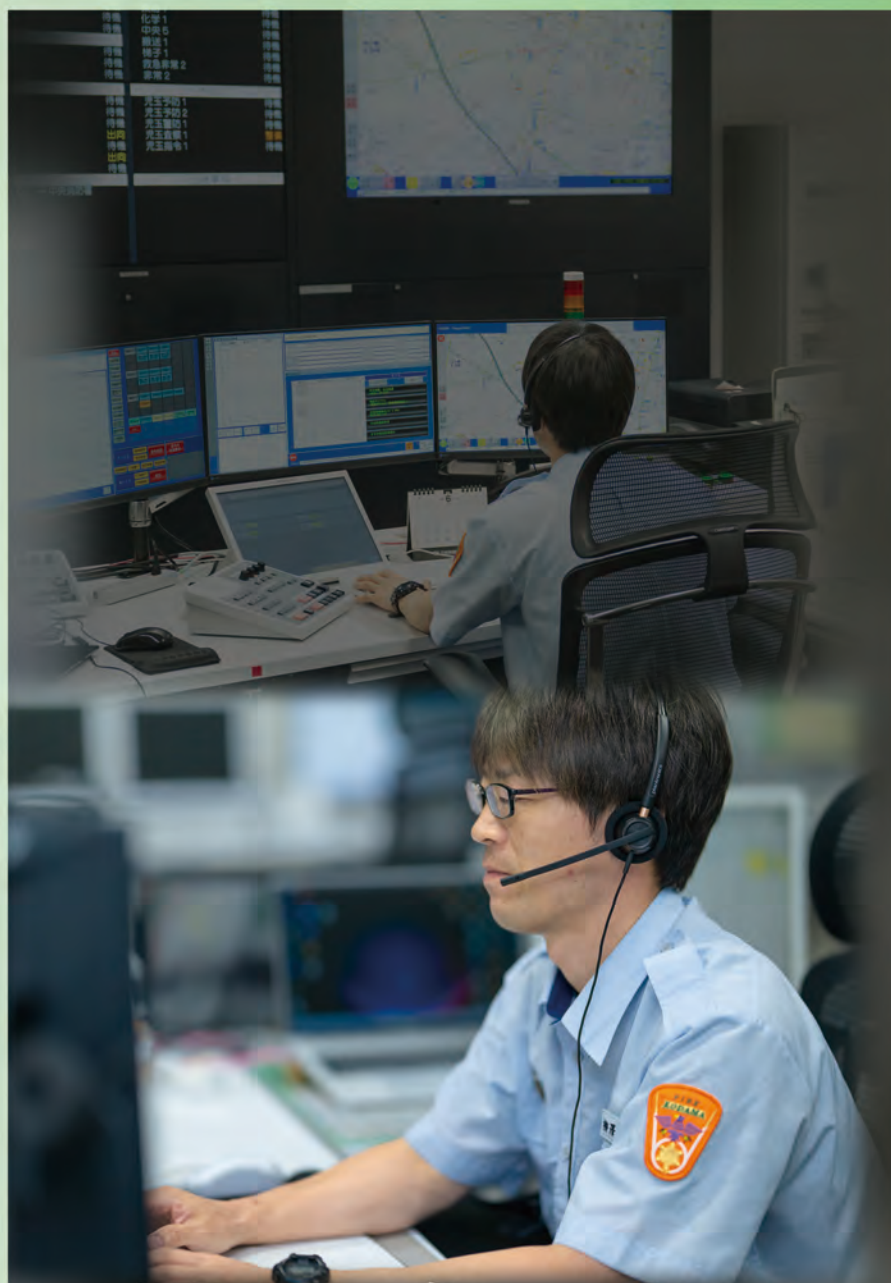
川や湖などで水難事故が発生した際、真っ先に現場へ駆けつけ、濁った視界や冷たい水温、複雑な水中環境の中で人命救助を行います。

活動の舞台は、地上とはまったく異なる過酷な世界です。だからこそ、専門的な潜水訓練を重ね、高度な技術と強い精神力を身につけています。

安全・確実・迅速な救助を実現するために、常に自らを鍛え続ける。

「見えない危険に立ち向かい命を繋ぐ」

——それが、潜水隊です。



指令課

指令課は、消防本部における災害対応の出発点として、24時間体制で119番通報を受信しています。

通報内容を正確かつ冷静に聴取し、火災・救急・救助などの種別を瞬時に判断。発生場所の特定を行い、出場する部隊の選定と出場指令を迅速に実施します。

さらに、現場の状況に応じて、警察・医療機関・電力会社などの関係機関と連携を図り、円滑な対応に努めています。確実な情報収集、判断力と的確な指示により、現場で活動する隊員を支えるとともに、住民の命と安全を守る中枢的な役割を担っています。



総務課

総務課は、消防本部全体の基盤を支える中枢的な役割を担っています。

予算の執行管理、人事業務、職員研修の企画及び運営、庁舎の維持管理及び広報活動など、組織運営に欠かせない幅広い業務を行う「ゼネラリスト」です。

現場で活動する隊員が最大限の力を発揮できるよう環境を整え、消防本部全体が機能的かつ効果的に動くよう支え続けています。

日々の積み重ねが、組織の信頼と力強さにつながっています。



予防課

予防課は、災害を未然に防ぐ“防火の最前線”

建物や危険物施設、消防用設備などに関して、法令に基づいた審査や検査、指導を行い、火災や爆発などの重大な災害を防止することを目的としています。これらの業務には、高度な専門知識と的確な判断力が求められます。

地域の実情に即した対応を行いながら、防火管理体制の整備や関係機関との連携も推進し、安全な環境づくりに貢献しています。

火災発生リスクを低減し、人命と財産を守るために、今日も専門的な立場から地域社会を支えています。



警防課

警防課は、消防本部の“機能と力を引き出す要”

火災や救助、自然災害など、あらゆる事案に迅速かつ的確に対応できるよう、緊急車両や資機材の整備を徹底し、常に万全の状態を維持しています。さらに、現場で必要とされる高い技術と判断力を養うため、各種訓練の計画を立案し、実効性のある訓練を継続的に実施しています。

部隊全体の力を底上げし、どんな状況でも的確に活動できる強靱な消防体制を築く、縁の下の力強い存在です。

隔日勤務の1日

※一例であり、所属により異なります

8 : 30

勤務開始

大交替・車両や資機材の点検
ミーティング
訓練・事務処理



当消防本部は、24時間勤務の2交替制です。前日に勤務をしていた職員と交替し、資機材に異常が無いか点検をすることが最初の業務です。その後は各所属の予定で業務を行います。

12 : 00

昼食

13 : 00

訓練・事務処理・警防調査等



各隊が連携した消防活動訓練、救助訓練、救急訓練等を毎日行い、常に緊急時に備えています。

また、消防訓練等の届出の事務処理や災害活動後の報告書の作成も行います。

18 : 15

夕食

19 : 15

訓練・事務処理・体力錬成等



それぞれが担当する事務処理のほか、夜間を想定した訓練や災害に耐えられる体力を養うために体力錬成に努めます。

22 : 00

仮眠



仮眠中でも出動指令が入れば、何よりも優先して災害に出場します。

5 : 30

起床



8 : 30

勤務終了



次の勤務の職員と交替し、24時間勤務が終了します。

毎日勤務の1日

8:30

勤務開始

事務処理・検査
来客対応・会議等



12:00

昼食

13:00



各課で異なる業務を行っており、いずれも欠かすことの出来ない重要な仕事です。

事務処理をメインに来客者対応も行います。

また、他消防本部、関係事業所、市町等と会議も行ったりします。

17:15

勤務終了

毎日勤務の勤務体制

消防本部職員（指令課員を除く）、署長、分署長等が該当します。
1回の勤務は7時間45分となっています。

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
勤務	週休	勤務	勤務	勤務	勤務	勤務	週休	週休	勤務	勤務	勤務	勤務	勤務	週休	週休	祝日	勤務	勤務	勤務	勤務	週休	週休	勤務	勤務	勤務	勤務	勤務	週休

隔日勤務の勤務体制

各自週休日が設けられており、下の表はその週休サイクルの一例です。
1回の勤務は15時間30分となっています。

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
勤務	勤務	非番	勤務	非番	勤務	非番	週休	週休	勤務	非番	勤務	非番	週休	週休	勤務	非番	勤務	非番	週休	週休	勤務	非番	勤務	非番	勤務	非番	週休	週休



児玉郡市広域消防本部

〒367-0035

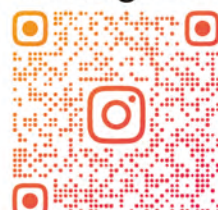
埼玉県本庄市西富田904番地3

☎0495-24-0119(代表)

ホームページ



Instagram



@KODAMAGUNSHI_F.D._SAITAMA.JP